

第二次美祢市総合計画

基本計画

第2回 観光・産業部会
(案)

令和元年7月8日現在

美祢市

基本目標 2 : 「魅力の創出・交流」の拡大

基本方針 1 観光の振興と魅力の創出

施策 1 観光の振興

現状と課題

- 秋芳洞の入洞者数は減少傾向にあるものの、市全体の観光交流人口は増加傾向にあり、外国人観光客も増加していますが、観光による経済循環の仕組や受入体制は十分とは言えません。
- 秋吉台地域の新たな交通手段と滞在時間の延長を図るため、レンタサイクルとカルストタクシーを連携した取組を行っています。
- 観光交流センターなど施設の計画的な改修を実施していますが、老朽化施設が多く、建て替えや再整備など観光客の求める観光地の整備に向けて、優先順位を付けながら計画的に行う必要があります。
- 山口市をはじめとした近隣市町と連携を図りながら、広域での周遊ルートの造成や産業観光ツアーなど、広域連携による観光客の誘致に取り組んでいます。市場のさらなる開拓のため、統一した仕組みの整備や選ばれる体験メニューの開発が必要です。
- 新山口駅や山口宇部空港からの二次交通対策を行うと共に、豊かな自然環境と保全に合わせた観光を楽しむ交通体系の整備が求められます。
- 空き店舗が目立ち、景観を阻害している状況にあり、観光客等の安全対策と景観対策を行う必要があります。

取組の方向

魅力ある観光コンテンツの発掘・開発を推進するとともに、観光客が、「訪れやすい」「回遊しやすい」環境整備を行います。また、秋吉台、秋芳洞を中心とした老朽化施設の計画的な整備や景観の保全を推進します。さらに、客の視点に立って楽しめる体験型・着地型観光のプログラムを造成するなど滞在型観光を推し進めます。

主な取組

1 特徴ある資源を活かした観光の振興

秋吉台・秋芳洞などを中心とした特徴を最大限に活かした観光振興策を推し進めていきます。また、観光地域づくりを進める組織を組成し、効果的なプロモーションとブランディングを行います。

3 交通アクセスの整備

新山口駅や山口宇部空港からの二次交通対策を行うと共に、自然環境と保全に合わせた観光を楽しむ交通体系の整備を推進します。

2 着地型観光の推進

「Mine秋吉台ジオパーク」を活用し、産業観光や着地型観光などの観光プログラムの構築を促進していきます。また、三洞などを活用した体験プログラムを造成します。

4 観光施設等環境の改善

観光施設の計画的な改修等を行い、観光客等の安全、利便性・快適性と魅力度の向上を図ります。また、空き店舗等、観光地にふさわしい景観対策を推進します。

5 広域連携による観光交流の推進

山口県央連携中枢都市圏や下関、長門などの枠組みによる広域連携を活かし、本市への観光ルート確保と一体的な振興を図ります。

6 観光推進体制の強化

経営状況の明確化、経営の弾力化、経営意識の向上、資産の有効活用等を図るため、観光事業特別会計を公営企業会計に移行します。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①②③④⑤観光交流人口	155万人 (H29)	169万人	183万人	
①美祢市の観光意欲度	12.6(H30)			
②着地型観光参加者数	370人 (H30)	500人	700人	
③秋吉台かるすとタクシー乗客数	1,645人 (H30)	2,000人	2,500人	
④トイレの洋式化率	40%(H30)	60%	80%	
⑤観光連携事業数				
⑥観光特会から一般会計への繰出金	0千円(H30)	50,000千円	50,000千円	
⑥三洞入洞者数	499千人 (H30)	540千人	596千人	

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画、美祢市都市計画マスタープラン、秋吉台地域景観・施設整備基本計画、美祢市地域公共交通網形成計画、**美祢市地域情報化計画**、**美祢市空家等対策計画**

現状と課題

- 市の観光情報を発信するため、インバウンド向けの多言語化や観光施設へのWi-Fi設置など、通信環境の整備を図っています。
- 海外市場に向けた連携体制は、県や山口市などと連携していますが、今後の受入体制など市町間の連携をさらに充実させていく必要があります。
- 東アジア圏の観光客に加え、近年、アメリカ、ヨーロッパ諸国など多くの国々からの観光客が増加傾向にあります。
- 外国人観光客が増加しており、キャッシュレス化による利便性の向上やグローバル化への対応、ICT活用による効率化に早急に取り組んでいく必要があります。

取組の方向

美祢市台北観光・交流事務所を交流の拠点として、東アジアを中心とした観光客誘致を図っており、今後ともインバウンド獲得などの振興を進めます。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどを契機に、外国人観光客の誘客促進を図り、受け入れ体制の強化を行います。また、観光客の多くを占めている東アジア圏だけでなく、アメリカ、ヨーロッパ諸国への対応にも注力します。

主な取組

1 国際観光の強化

海外の拠点を中心とし、外国人観光客獲得に向け、コンテンツの開発や強化を図るとともに、山口県などと連携した施策展開を図ります。

2 受入環境の整備

観光施設へのWi-Fi設置、受付対応、多言語表記やキャッシュレスなど外国人観光客に対応した環境整備を進めます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①三洞外国人観光客数	34,000人 (H30)	117,000	142,000	
②外国人観光案内所	カテゴリーⅡ (H30)	カテゴリーⅠ	カテゴリーⅠ	

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画

施策3 おもてなしの向上

現状と課題

- 市内中高生や観光産業従事者、観光ボランティアを対象に、ホスピタリティの向上を図るとともに、地域資源や人材の掘り起こしを目的におもてなし人材育成事業を実施しています。
- 比較的若い世代に対しては、ジオパーク学習などを通じた、美祢市の観光に関する考え方が広がっていますが、年齢の高い層に対しては市が一体となった観光のあり方とおもてなしの心の醸成が必要です。
- 秋吉台地域には複数のガイド団体が存在しており、観光客からわかりにくく、利用がニーズに即した体制となっていない状況にあります。
- ガイドを集約し窓口を一本化することで、分かりやすい組織にする必要があります。

取組の方向

市民のおもてなし意識の醸成を行い、観光振興にかかわる市民の増加を図り、市民総参加のおもてなしにあふれた観光地づくりを推進します。また、ふるさとへの愛着や誇りを育み、**将来の観光**を担う人材の育成に結びつけます。

主な取組

1 おもてなし観光の充実

市内のガイドを中心として、観光客が求めるおもてなしの心の醸成やスキルを向上することで、観光のリピーターを増加させます。

2 観光関連従事者の連携強化

市内の観光関連事業者と他産業事業者の連携を促すとともに、市民のホスピタリティを向上させます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①有料ガイド登録者数	68人 (H29)			
①本市へのリピート率	48%(H30)	60%	70%	
②みねシュラン3★認定者数	12人(H30)	27人	42人	

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画

基本方針 2 交流・関係の拡大と発信の強化

施策 1 国際交流の推進

現状と課題

- 市民海外研修により、中高生を中心に異文化交流を通じて、国際感覚や本市の良さの再認識する取組を進めています。
- 秋吉台インターナショナル・ユースサミットの開催などにより、本市で行う誇りの醸成と国際感覚溢れる人材育成を行う必要があります。

取組の方向

友好都市等との交流や海外研修など、海外での活躍の場づくりに取り組むとともに、本市を舞台とした国際交流活動を積極的に推進します。また、グローバル化の流れが進む中で、多様な文化や価値観を認め合う、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めます。

主な取組

1 国際交流の推進

友好都市などとの人材交流、海外研修などを進めます。

また、本市の自然、歴史、産業などを活用した市内での国際交流事業を推進します。

2 多文化共生社会の推進

外国人観光客や交流、就労などの増加に伴い、多言語化などの環境整備や多文化共生社会の実現に関する取組を進めます。

また、対等な関係で交流ができるよう、市民の外国人や外国文化に対する理解を促進します。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
②国際交流による相互交流人数				
③多文化共生事業参加者数				

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画、美祢市地域公共交通網形成計画

施策 2 資源を活用した交流の推進と関係化

現状と課題

- マーケティングを基にプロモーションやターゲットを明確にし、イベントを本格化させる必要があります。
- 体験型観光を推し進め、地域団体とともに田舎体験などツーリズムを展開する必要があります。
- 美東桂岩ふれあいセンター、八代めくもりの里、鳳鳴地域交流センターなど、地域資源を活用したイベントを企画し交流を行っています。一方で、担い手の育成や一部内容の充実を図る必要があります。
- 情報発信力と都市部との関係性が弱いため、関係促進を図り人材交流を進める必要があります。

取組の方向

「Mine秋吉台ジオパーク」を交流と関係構築の拠点として、都市圏への発信力強化を図るため、各種大型イベントの魅力向上を行います。また、ツーリズムや都市と農村の交流を進め、地域の担い手と団体育成を図り、**教育・研修旅行等をはじめとした観光と地域の振興につなげます。**さらに、都市部で地域に関わりを持つとする「関係人口」に着目し、全国の若者等と地域間交流などの関係化を図り、人材**活用によるまちづくり**を推進します。

主な取組

1 イベントの強化による交流の促進

秋吉台を中心としたマラソン大会、サイクルスポーツ・ウォーキング大会等の開催など、大型イベントに磨きをかけ、本市の観光コンテンツの魅力化を行い、交流人口の拡大を行います。

3 都市・地域間交流の促進

地域と交流施設の魅力を活かし、田舎体験や**学習・研修など多様な地域プログラム**を造成し、都市圏等の**学生**や若者の交流を促進させ、本市の認知度を上げます。

2 ツーリズムの強化による交流と関係の拡大

地域の資源を活かした秋吉台を中心としたツーリズムを促進させます。受入地域など組織と人材育成を**図り**、**プログラムに取り組むこと**で、交流人口と関係人口の拡大を行います。

4 関係人口化の推進

都市部の地域に関わりを持つ人々が地域づくりにかかわる機会を提供し、「関係人口」化に着目した取組を進めます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①美祢秋吉台ジオパークマラソン参加者数	1,887人 (H30)	2,500人	2,500人	
①ツーリズム参加者数(ジオ以外)				
③都市と農村等地域間交流数	1			
④関係人口登録者数	-			

▼ 関連する計画：美祢市観光振興計画

施策3 地域情報、観光情報の発信

現状と課題

- 観光情報の取得のため、携帯端末機器を活用した情報発信ツールやWi-Fi環境の整備をしていますが、認知度が低く活用の促進が図られていません。
- 外国人観光客や都市圏へ本市の魅力を発信する取組が不十分です。
- グローバル化や地方創生による都市間競争が激化する中、他との違いをしっかりと打ち出し、本市の特徴や魅力を活かした情報の提供を進める必要があります。

取組の方向

情報の多様化が進む中で、「秋吉台」「秋芳洞」などの知名度を全国的に高めるため、魅力的な観光PRや滞在型観光コンテンツの情報戦略を推し進めます。また、地域ブランド商品、ジオパーク活動など、都市圏住民等に対し、本市が選ばれるため一体的に連携し、宣伝展開を図ります。また、**市全体の競争力の底上げを図るため**、多様な情報を複合的に構築化し、シティプロモーションを強化します。

主な取組

1 観光情報の発信の強化

マーケティングに基づき、ターゲットに最も効果的で印象的な手法及びテーマ等で、観光情報を国内外へ向け発信することで、**情報発信力の強化を図ります。**

3 シティプロモーションの促進

市の認知度を高めるため、**公式キャラクターの活用など**、市全体のイメージ戦略を行います。また、ロケ地誘致の拡大など、フィルムコミッションの強化を図ります。

2 情報発信の仕組みづくり

観光協会や市によるイベント情報、地域ブランド、ツーリズムや地域間交流等、情報の**連携と集約化による一元化**を推し進め、迅速で円滑な情報発信体制を構築します。

4 市政情報の効果的な発信

市民や市外者のニーズを的確に捉え、効果的な発信による交流と関係化を深めるため、広報、ホームページやケーブルテレビの内容の充実化に取り組みます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①美祢市の魅力度ランキング	774位(H30)	750位	700位	
②美祢市の情報接触度ランキング	826位(H30)	800位	750位	
③映画・CM等ロケ地誘致数	10(H30)	10	10	
④美祢市の認知度ランキング	764位(H30)	750位	700位	

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画、秋吉台地域景観・施設整備基本計画

基本方針3 自然・文化の保護と活用

施策1 自然環境の保全と活用

現状と課題

- 秋吉台国定公園の貴重な自然景観や、歴史・文化を後世に伝えるために、地域住民と協働した保全活動が重要となっています。
- ラムサール条約に登録された秋吉台地下水系の自然環境の保全と活用が重要視されており、ジオパークと連携したプログラムの促進が必要です。
- 別府弁天池に代表される美しい地下湧水が観光地や養鱒場として活用されているほか、灌漑など地域の生活にも欠かせない資源となっています。

取組の方向

秋吉台国定公園の景観や生物多様性に配慮しながら、保全と活用に努めます。また、市民や民間との協働による管理体制の構築を目指します。

ラムサール条約やジオパークに登録されている独自の自然環境の保全を進めながら、観光や産業等への活用を促進します。

国内でも有数の美しい地下湧水についても、生活資源として利用されている現状を維持しつつ、より有効な活用を実践します。

主な取組

1 秋吉台国定公園の保全と活用

秋吉台国定公園や秋芳洞など、**関係機関などと連携し、植生などの環境保全と資源の活用**に取り組めます。

2 地下水系の保全と活用

ラムサール条約に登録されている秋吉台地下水系と別府弁天池等貴重な湧水など、地下水系の保全と**資源の活用**に取り組めます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①秋吉台山焼きボランティア数				
②別府弁天池観光客数				

▼ 関連する計画

美祢市都市計画マスタープラン、美祢市観光振興計画

施策 2 ジオパーク活動の推進

現状と課題

- 国内44地域のジオパークで構成する日本ジオパークネットワークにおいては、本市での全国研修会開催や、同ネットワーク事務局に職員を積極的に派遣するなど、国内のジオパーク活動と連携しています。
- 世界との交流をより高度かつフレンドリーとするため、英国籍の国際交流員を配置しました。
- ジオパーク活動の根幹ともいえる地質遺産等の保全に関して、秋吉台地域を中心とした重要な地質遺産等を永続的に守るために保全管理計画を策定し、実施していく必要があります。また、自然科学分野における資源や資料の収集・保存や展示、一般公開、教育、観光との連携など、ジオパークの拠点施設の一つとしての「博物館機能」の拡充を図ることが重要です。
- ジオパーク活動を行う市民や認知している市民の数はまだ十分ではなく、市全体で更なるジオパーク活動の拡大が求められています。ジオツアー参加者やジオガイドの人数は増加しているものの、これまでに以上に活動に関わる市民の裾野を広げる取組を手掛ける必要があります。

取組の方向

市民の主体的活動を軸に、「Mine秋吉台ジオパーク」の保全と活用を図ります。山口大学をはじめとする高等学術機との連携や他国のユネスコ世界ジオパークとのネットワークの構築を進め、市民活動とともに、ユネスコ世界ジオパークへの認定に向けた取組を進めます。

ジオパークの拠点施設でもある博物館機能の充実化に向け、市内全域の博物館等施設の資源を十分に活かし、保全と学習、交流の拡大につなげていきます。

主な取組

1 博物館機能等の充実

秋吉台を中心とした地質資源や歴史や文化に関する資料の保存や学習・交流施設の魅力化、拠点化のため、秋吉台科学博物館他、同様施設のあり方を検討し、充実・機能強化を図ります。また、ジオパーク活動や観光施設との連携を図り、新たな見学ルートを開発を行います。

3 ジオ・ツーリズムの活用

ジオツアー販売システムなどを構築し、観光客の満足度を高めます。また、ジオガイドの養成やスキルアップによるジオガイド組織の拡充など、ジオツアーの魅力化に取り組めます。

2 ジオパーク活動の普及・啓発

市民による主体的なジオパーク活動を推進するため、各種団体を対象に交流の機会を図り、理解と参加の促進につなげます。あわせて、団体同士のネットワークを構築し、市民活動の拡大を図ります。

4 ユネスコ世界ジオパークへの認定

国内外のジオパークとの交流や連携を強化し、ユネスコ世界ジオパーク認定を目指します。また、認定により、経済や文化が還元される仕組みを構築します。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①秋吉台科学博物館入館者数	26,085人 (H29)	27,389人	28,694人	
②公開講座参加者数	387人 (H29)	748人	834人	
②児童・生徒向け講座参加者数	942人 (H29)	1,343人	1,729人	
③ジオツアー参加者数	1,007人 (H29)	1,800人	2,300人	
③ジオガイドの人数	56人 (H29)	88人	100人	
④				

▼ 関連する計画

基本目標3：強みを活かした「産業の振興」

基本方針1 特色を打ち出した農林水産業等の振興

施策1 農業等の振興

現状と課題

- 本市を代表する「厚保くり」「秋芳梨」「美東ごぼう」などの特産物や新たな製品の開発など、担い手の確保や市場拡大を見据えた振興策に取り組んでいく必要があります。
- 新規就農者確保対策として就農までの研修や就農に向けた施設整備など、経営初期支援を行っていますが、さらなる担い手の確保につなげていく必要があります。
- 農地等の整備について、可動堰・ため池改修・暗渠排水が完成し、基盤整備3地区もほぼ完成しています。今後さらに基盤整備に取り組み、農業への取組意欲の向上につなげる必要があります。
- 農地等の利用最適化を図り、わずかながら遊休農地は解消しつつあります。しかしながら、相続による市外在住非農家や農業従事者の高齢化、有害鳥獣被害の拡大により耕作を断念し、新たな遊休農地が増加傾向にあります。

取組の方向

本市の**特徴ある農業等**の振興を**市場拡大**に向け、**戦略的に**推し進めることでブランド化を図り、産業の活性化につなげます。また、**農業等**の維持・振興に向けて集落営農法人の**活性化**やその連合体等の生産体制の強化を図り、新規就業など**受入環境を充実させ**担い手の確保・育成を進めます。

遊休農地対策として、作物の振興や就農者の掘り起しなど、景観対策を踏まえ取り組みを進めます。

主な取組

1 農業等の振興とブランド化の推進

農業等**製品の品質向上、開発**と生産振興に向けた各種支援を行います。

また、**製品**のブランド化に向けた磨き上げやプロモーションに取り組めます。さらには、JAや各種農業法人、民間などと連携し、安全・安心で消費者ニーズに即した農業等産物の生産と流通体制の強化を図ります。

3 農業等生産基盤整備の推進

農地や施設の老朽化による破損等に対応し、土地改良事業を実施します。

また、基盤整備やため池改修等のニーズと必要性に応じ、事業を推進します。

2 農業等の担い手の確保

新規就業者等担い手確保の受け皿となる集落営農法人の相互連携を進め、地域の核となる経営体の**経営強化**を図ります。

また、新規就農しやすい体制や担い手**確保**に向けた**就業対策**など環境整備を行います。

4 遊休農地対策の推進

農地の活用、農業の姿を見据え、有効的な活用を促し、作物の振興や利用権設定など、意欲ある農業者を支援し、耕作放棄地の拡大を抑制します。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
① 農業等製品の付加価値認定商品数	1			
② 認定新規就農者の数	11人(H29)			
② 担い手への農地の集積率	32.9%(H29)			
③ 圃場整備率				
④ 耕作放棄地面積				

▼ 関連する計画 美祢市六次産業化基本計画

現状と課題

- 山林などの自然環境は、地域の過疎化や農林業従事者の高齢化、担い手不足などの理由により荒廃が進んできています。また、若年層の地区外流出に伴い、労働力が減少しつつあります。今後、経営・管理することが困難な森林の管理や機能の発揮を検討していく必要があります。
- カルスト森林組合等と連携し、放置され荒廃した山林等を整備し、森林施業や間伐材搬出コスト削減に向けて路網整備を進めています。
- 有害鳥獣による農作物への被害防止のため、捕獲業務や侵入防止対策を実施していますが、増加し続ける有害鳥獣による被害を抑制するため、新たな対策などが求められています。

取組の方向

本市の恵まれた森林の持つ多面的機能が発揮され、自然環境の保全が保たれるよう、森林施業の実施や森林作業網を整備し、林業基盤の整備や地域における山林の環境整備により林業の振興に取り組みます。

主な取組

1 林業の振興

林業施業の効率的な実施方法をカルスト森林組合との連携し、取組を推進します。また、森林作業路の計画的な整備を進め、林業生産の向上を図ります。

2 有害鳥獣による被害防止対策

農作物等や市民への被害防止に向けて、自然環境保全の取組と活用の検討も行いながら、駆除対策組織と連携し、有害鳥獣対策を強化します。

3 森林などの保全と活用

「新たな森林経営管理制度」を活用し、森林所有者とともに経営や管理計画を定め、林業振興を図ります。また、「森林環境譲与税」事業等を活用しながら、森林施業の実施やバイオマスなど新たな有効利用を検討し、健全な森林資源の保全と活用につなげます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①人工林の間伐面積				
②有害鳥獣の駆除数				
③経営管理権集積計画策定数				

▼ 関連する計画

基本方針 2 商工業の振興と起業促進

施策 1 商工業の振興

現状と課題

- 美祿商工会等各種団体に対する補助金等をはじめ、商工業活性化事業や中小企業者融資事業(美祿がんばる企業応援資金融資事業)、商工貯蓄共済融資保証料補給事業などにより、商工業の活性化を図っています。
- 中心市街地における空き店舗の増加や各地域における商業施設の撤退・廃業が課題となっており、まちのにぎわいづくりや商業施設・サービス機能の維持・確保が課題となっています。
- 起業家などへの支援・育成として、美祿あきない活性化応援事業による空き店舗の活用などの支援を行っています。

取組の方向

県、商工会及び関係団体との連携を強化し、市内商工業者の経営の安定化を支援するとともに、小売業、サービス業等の事業承継や経営基盤の強化、さらには起業を支援します。また、魅力ある企業活動の創出に向け、ビジネスマッチングやICTの導入による新産業や付加価値の高い産業の創出を進めていきます。

主な取組

1 商工業の活性化

山口県央連携中枢都市圏事業と連携による新たなビジネスマッチングの促進などにより、市内商工業者の振興・育成を行います。

また、企業の新分野参入やICT導入などの促進を図ります。

3 商工業団体等の機能強化

商工会などの機能強化を行い、融資制度の利用促進や市内商工業者の連携強化を行います。また、商工団体と多様な主体の連携により、賑わいの空間づくりの検討と推進を行います。

2 事業承継等の推進

就業への魅力PRやマッチング支援、就業への補助といった支援策に取り組みます。

また、事業承継支援の取組を国・県・専門家や金融機関などと連携して推進し、地域の商工業の維持、創出を図ります。

4 起業家などへの支援・育成

ベンチャーの創出、新規創業や空き店舗・空きスペースを活用して開業する起業家などへの支援と人材の発掘及び育成、ビジネス支援を行います。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①年間商品販売額(百万円)	1,551(H29)			
①製造品出荷額等(百万円)	12,189(H26)			
②事業承継支援数	-	1	2	

③制度融資利用件数	2(H30)	4	6
④起業支援数	10(H30)	12	15

▼ 関連する計画

現状と課題

- 産業の振興のため、市民、事業者、関係団体、行政など産業に関わる全ての分野が一体となって、協議による振興施策への取組を一層推進し、連携強化を深める必要があります。
- 市内の工業団地に対する企業誘致は平成26年度以降、合計5件の企業誘致に成功しており、今後、市の交通利便性を活かし、若者の就業に資する企業の誘致が求められています。
- 未利用地の活用や美祢市の特徴を活かした産業の育成を図るとともに、労働力の確保を進めていく必要があります。
- 市、就職相談室、ハローワークが連携し、美祢ミニ就職面接会の充実を図る必要があります。
- 「地元の企業を知ろう in美祢」と称して、高校生就職ガイダンスを実施しており、地元企業への理解と就業の促進につなげる一層の取組が必要です。
- 地元企業にとって人材確保が課題となっており、企業の魅力の創出・発信とマッチング支援が求められます。
- 福利厚生については、「美祢市勤労福祉共済会」により、中小企業に勤務する未組織の勤労者に対する福祉の向上対策を充実させていく必要があります。

取組の方向

本市の有する地域資源を活かした企業誘致を進め、産業の活性化と市民等の雇用の創出に取り組めます。

学生や若者に対し、地元企業の魅力を発信し、地元での就労を促すとともに、就労の機会・場を提供することで、働きたい人と人材を求める企業とのマッチングを行います。また、労働者に対する福利厚生を向上させるため、勤労者福祉共済制度への加入促進に取り組めます。

主な取組

1 企業誘致活動の推進

市の特徴と強みを活かした産業振興の一体的な方針のもと、企業訪問等によるPRを促進させ、産業の活性化と若者の雇用の場の確保に向け企業誘致活動を充実させます。

3 地元企業への理解の促進

インターンシップなどの活用により、地元愛の醸成や地元企業への理解をさらに促進することで、市外へ転出した若者が地元で仕事をしたいと感じられる環境づくりと情報の発信を強化します。

2 時代に即した事業用地の確保と利用促進

空き地や空き工場への企業進出について、ICT等を活用した新たな働き方に即した事業スペースの利用等、さらに積極的な働きかけを行い、新たな雇用の場の創出を行います。

4 就労機会・場所の確保

各種雇用相談や県内外のジョブフェアへの出展の拡大、就職面接会及び就職ガイダンスの継続と充実を図り、就労機会・場を確保します。また、シルバー人材センターを活用し、高齢者の就業機会の確保や職業紹介、職業訓練などに取り組めます。

5 多様で柔軟な働き方ができる労働環境の整備
ICT等を活用したテレワーク、自宅勤務などを取り入れる事業主を支援します。

個人の生活設計に応じた柔軟で多様な働き方を選択できるワークシェアリングなどに関する普及啓発を行います。

6 労働者の福利厚生や教養文化の向上

市内労働者の福利厚生、教養文化の向上を目的として勤労者福祉共済制度への加入を促進するとともに、指定管理者との連携により、勤労者福祉施設を充実させ、利用を促進します。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①進出企業数	1社(H29)	1社	1社	
②空き工場等への誘致数	-(H29)	1社	1社	
①インターンシップを受け入れている企業数	調査中			
②ジョブフェア出展企業数	調査中			
②市就職面接会の参加者数	54人(H29)	60人	60人	
③テレワーク等ICT活用雇用創出事業者数	調査中			
④勤労者福祉施設使用件数	3,740件(H29)	3,750件	3,760件	

▼ 関連する計画

基本方針3 魅力産業の振興と地域内経済の活性化

施策1 地場産業の育成と観光産業の振興

現状と課題

- 賑わいの創出と交流人口の拡大のため、サイクリング、マラソン、ウォーキング大会等多様なイベントを開催することで、秋吉台地域の新たなブランドイメージは徐々に浸透していると考えられます。今後、滞在時間の延長を図り、観光消費額を増加させ、観光の地域振興につなげていく必要があります。
- 本市の宿泊施設の様子は市内のホテル等が中心となっており、秋吉台家族旅行村や秋吉台リフレッシュパークなどが補完しています。
- 道の駅「みとう」や直売所「みとう」では、施設の老朽化が顕著となっており、商品を安定供給できる体制づくりや施設の魅力化について支援する必要があります。
- 道の駅「おふく」の交流センターの大規模改修を行ったほか、再犯防止・地方創生連携協力事業の実施に伴う、道の駅「おふく」におけるストアサイトを開設しています。
- 本市では、食メニューやお土産物の提供が弱く、今後、市場調査に基づく開発を進めるため、多様な事業者との連携が必要です。
- 第三セクターである「美祢農林開発」は、たけのこ水煮、竹割箸といった地域資源を活用した商品開発を行っています。「食」は観光産業においても重要なテーマであり、食のさらなる開発が求められます。

取組の方向

地域資源の掘り起こしや環境整備による新たな観光産業の育成と担い手の確保を進めるとともに、観光産業や関連産業に携わる事業者、団体等のネットワークを構築し、観光産業を一体的に推進します。

また、地域経済の活性化と観光との連携に向けて、道の駅「みとう」、「おふく」、美祢農林開発や直売所みとうなどの拠点を活かし、地場産品を市外にPRし来訪を促す機能を充実させます。また、特産品や商品の販路拡大・収入増に向けて連携を強化すると共に、観光客などに喜ばれる新たな食の開発など、地域資源の活用・工夫に取り組みます。

主な取組

1 観光産業の育成・強化

観光事業者・観光協会などの連携・枠組みを中心とした一体的な取組により、観光産業の育成・強化を図り、産業規模の拡大を目指します。

3 道の駅などの活性化

道の駅などの施設の機能強化を行うと共に、美祢農林開発の開発力を強化し、積極的な地域資源の活用による商品化に取り組みます。また、観光客に喜ばれる利便性の向上や環境

2 担い手の確保

観光産業を実践する関係各所と連携を取りながら、担い手確保と育成を行い、受入態勢を整備します。

4 観光と連携した地場産業の育成

魅力ある地場産商品の充実化を行い、生産量の増加、収入増に向けた支援を行います。特に観光産業では「食」の重要性は高く、開発・販売・提供が一体的に行えるよう、生産者と関

整備を推進します。

係者などの多様な連携を図り、地域と観光が一体となった食の開発に取り組みます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①観光地店舗数				
②DMO組織の設立				
③道の販売上高(千円)	279,072(H30)	287,400	295,800	
④「食・土産物」の開発数				

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画、美祢市六次産業化基本計画

現状と課題

- 市民が地域振興、起業を目的に、誰でも気軽に六次産業に取り組める支援が求められています。
- 地域ブランド認定制度「Mine Collection」において、事業者と商品を市の地域ブランドとして認定し、販売の促進を目指していますが、認定基準などが不明確であり、ブランド力の強化と認知度の向上を図る必要があります。
- 県内外への販路拡大をめざす「地産・都商」に取り組み、本市の魅力発信と稼ぐ力の強化に取り組むため、マーケティング力の強化を行うことが、産業の振興において重要となっています。
- 認定者で構成されるMine Collection認定者協議会を中心に、パワーアップ事業など認定商品の商品力強化やパッケージなどブラッシュアップを図る必要があります。

取組の方向

六次産業化やブランド開発の振興を図り、第一次産業従事者などの所得向上や雇用の拡大、さらには地域の活性化へつなげます。本市の六次産業事業者への支援を実施するとともにブランド力の強化を図り、都市部への地産都商の取り組みなど、農産物加工品等のPR、マーケティング活動により地産外商を進めます。

主な取組

1 六次産業化の推進

農業者や女性、法人など多様な団体が、加工にチャレンジできる環境を整備し、六次産業化の取組や新たな特産品の開発などを推進します。

3 地産外商の推進

六次産業産品、ブランド産品などの質の向上により、流通とPR・プロモーションの強化を図るなど、地産外商・地産都消を促進するため、マーケティングを強化します。

2 ブランド化の推進と強化

農林水産物加工品などのブランド化を推進するため、生産管理体制の充実や質の強化とブランド力を育成し、産品の生産拡大に向けた取組につなげます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①六次産業化に新たに取り組んだ件数	54件(H30)	71件		
②総合化事業計画認定事業者	2件	-		
②Mine Collection認定件数	73件(H30)	100件		
③ミネコレクション売上額(千円)	1,170,180	1,305,780		

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画、美祢市六次産業化基本計画

